

平成18年第4回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成18年12月5日
大仙市長 栗林次美

本日、平成18年第4回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただき誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、条例案9件、単行案11件、補正予算17件の合計37件であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

始めに、学校給食費の収納に不適切な取り扱いがありましたことにつきまして、ご説明とお詫びを申し上げたいと存じます。

本件は、去る10月、給食費滞納者との支払い計画の相談の中で、本年2月と3月に受け取ったはずの給食費2万円が収納処理されていないことが判明したため、直ちに当時の状況を調査するとともに、担当していた職員に事情を聞いたところ、当時この職員が使用していた鞆のサイドポケットから、収納した現金と領収書の控え2枚が見つかったというものであります。

この職員は、当時、新しい学校給食センター建設に関する事務も担当しており、忙しさに紛れて収納処理することを忘れていたようであります。

今回の件につきましては、収納した現金と領収書の控え双方が見つかり、意図して収納処理を怠ったものではないと判断いたしましたが、市民の信頼を失墜する行為であることから、10月31日に職員事故等審査委員会を開催し、11月1日付けでこの職員を、減給10分の1、1カ月の処分にしたところであります。

本日、本会議開会前に開かれまして教育民生常任委員会協議会でも「再びこのようなことの無いように」とのご指摘があり、職員に対しましては、適正な事務処理に務めるよう指示してまいります。

ご迷惑をおかけした市民並びに議員各位に、心からお詫び申し上げます。

それでは、この場をお借りいたしまして、本年度の各部局ごとの主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告させていただきます。

始めに、総務部関係について申し上げます。

平成19年度の職員採用につきましては、去る10月9日・10日に二次試験を実施し、最終合格者は、定年前早期退職者が昨年を大きく上回ることを考慮して、当初予定を3名上回る18名としたところであります。

県内の市町村としては初の試みとなる、住民参加型市場公募債「だいせん夢未来債」につきましては、購入対象者を大仙市内に居住又は勤務する個人及び市内の法人に限定し募集したところ、571件、総額8億5,670万円の応募があり、目標の3億円を大きく上回ったため、11月28日、厳正な抽選を行い200人の当選者を決定させていただきました。

次に、企画部関係についてであります。

行政評価につきましては、8月下旬に実施した市民評価のアンケートに対し427人から回答をいただいております、12月中に結果を公表できるよう分析作業を進めております。

大曲地域の乗合タクシーにつきましては、昨年度と同じく内小友、四ツ屋、松倉の一部を対象に、12月1日から3月30日まで冬期間の試験運行を実施しております。

本年10月の道路運送法の改正により、地域のニーズに応じた交通体系の整備が求められ、県では大館市、男鹿市及び本市をモデル地域として指定し、地域交通のあり方についての検討を進めており、これと歩調を合わせ市でも交通空白地域の解消に向けた交通手段のあり方について検討してまいります。

国際交流につきましては、10月26日からの合同ソウルセールス事業に参加し、韓国の青少年を対象にした、協和スキー場へのツアーについてPRしたところ、関心をいただき実現の可能性を実感したところであり、11月13日から担当職員を韓国に派遣し、韓国青少年ソウル連盟と「韓国青少年ツアー」について協議を進めてまいりました。

今冬は、実験的に協和スキー場と大仙市観光を目的に来日する計画であり、実施に当たりましては地元の皆様のご協力をお願いしたいと存じます。

男女共同参画につきましては、大仙市秋の稔りフェアにおいて「男女共同参画展コーナー」を設置し、市民から募集した川柳・ポスターの優秀作品の展示を実施しました。このほか、「男性料理教室」、「DV防止街頭キャンペーン」、

「男女共同参画社会づくり基礎講座」など男女共同参画社会に向けた意識啓発事業を実施しているところでもあります。

第三セクターの経営改善につきましては、現在、平成19年度からの支援策を含めた市の方針を、大仙市出資法人等経営改革調査特別委員会に提示し、ご審議をお願いしております。

次に、市民生活部関係についてであります。

交通安全対策につきましては、秋の全国交通安全運動の期間中、「夕暮れ時と夜間の歩行中及び自転車乗用中の交通事故防止、シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の徹底追放」を重点目標に掲げ、交通指導隊をはじめ関係機関、団体による巡回指導、街頭指導などを実施したほか、10月17日から20日までは「4時からライト・乗ったらベルト運動」の街頭指導を実施いたしました。

これから本格的な冬を迎え、路面状況に応じた安全運転の励行やスリップ事故防止に努めるとともに、飲酒運転の撲滅・徹底追放にも努めてまいります。

防犯対策につきましては、大仙警察署の協力のもと、10月11日から、公用車9台に青色回転灯を装着し、「子ども安全・安心パトロール」に活用したところではありますが、その後、秋田県防犯協会連合会から7個の貸与を受けたことから、現在は、これと合わせた16台の青色回転灯装着公用車によるパトロールを実施しております。

また、10月25日には、市と大仙警察署が、大曲郵便局、JA秋田おぼこ及び秋田県ハイヤー協会大曲仙北支部の三団体と「大仙市防犯パトロールの協力に関する協定」を取り交わし、協力車両274台によるパトロールを実施していただいております。

青少年の健全育成につきましては、青少年育成大仙市民会議と連携しながら、関係機関・団体と協力して「薬物乱用防止・非行防止」啓発用チラシを通勤・通学者に配布したほか、市内の図書類自動販売機の一斉点検活動を実施しております。

消防施設の整備につきましては、防火水槽7基、消火栓6基が発注済みであります。

平成20年4月からの後期高齢者医療制度につきましては、平成19年2月1日に県内全市町村が構成員となる広域連合の設立を予定しておりますが、全ての構成市町村議会において、広域連合設置の議決及び規約の承認が必要となることから、今次定例会に同連合の設置についてご審議をお願いしております。

大仙美郷環境事業組合が実施しております、し尿処理施設整備工事につきましては、11月24日に完成届が提出されており、12月6日に竣工検査を行い、引渡しを受ける予定であり、一般廃棄物最終処分場建設事業については、本年度工事として用地造成工事を行っており、11月末の進捗率は8.4%となっておりますが、土質が当初の想定より軟弱なため、現在、工程等の見直しを行っております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

大仙市内小友地内に開設予定の特別養護老人ホームにつきましては、設置者であります社会福祉法人あけとおりが、9月8日、県知事による法人設立認可を受けたところであり、施設の建設については、10月19日に着工し、平成19年3月末完成の予定と伺っております。

高齢者等除排雪サービス事業につきましては、本年度から市全域で実施することとし、広報で周知を図ったところであり、11月末日現在の申込数は276件となっております。

西仙北地域の統合保育園建設事業につきましては、建築、電気設備及び機械設備工事を11月中に発注しており、平成19年10月30日の完了を予定しております。

社会福祉施設等の法人化につきましては、庁内で具体的な法人化の方向性を検討し、法人化計画骨子案について大仙市福祉施設等法人化調査特別委員会でご審議いただいております。年度内に法人化計画とこれに沿った具体的な実施計画を策定し、平成19年度に法人設立準備委員会を設置し、法人設立に向けた協議・検討を進めてまいります。

また、現在、施設職員への説明を行っておりますが、今後、施設の利用者や保護者、家族など、施設関係者を対象とした法人化計画に係る説明会を開催し、

ご意見やご要望を計画に反映させる機会を設けるなど議論を深めてまいりたいと考えております。

10月23日発生の諒介ちゃんの事件につきましては、あつてはならない事件であり、あらためて深く哀悼の意を表するとともにご冥福をお祈りするものであります。

これまでの経緯につきましては、11月16日開催の教育民生常任委員会協議会においてご報告しておりますが、市では保育園と連携をとりながら見守ってきたところであり、報道されているような虐待等に関する事実は確認できなかったところであります。

なお、今回の事件を踏まえて、これまでの市としての対応について、12月11日関係者による検証を行い、要保護児童に係る対応策のマニュアルを作成するとともに、このような状況に至らないよう、児童相談所をはじめとする関係機関との連携の強化や福祉事務所内の体制の充実、要保護児童対策地域協議会の設置など、早急に対策を講じてまいります。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、10月15日現在の農林水産統計では、全国の作況指数は「96」のやや不良、秋田県は「100」の平年並みとなっており、県南については、10a当たり590kgで「101」の平年並みと発表されております。

平成18年産米の管内の買入れ状況につきましては、水稻生産実施計画提出者の作付確定面積12,286haに対し、生産確定数量が72,436t、約120万俵となっており、11月16日現在の出荷状況は、100万7,534俵の契約数量に対し100万8,000俵余りで、出荷率は100%となっております。また、一等米比率は93.8%で前年同期より1.1ポイント高くなっております。

平成19年産から始まる品目横断的経営安定対策の対象となる担い手の経営体につきましては、10月末現在で、設立された農業法人が22、集落営農組織が9の合わせて31となっております。認定農業者数については、本年度に入ってから168増え1,279となりましたが、品目横断的経営安定対策

の対象となる経営面積が4ha以上の担い手は749となっております。

10月21日・22日に開催の「大仙市秋の稔りフェア」につきましては、天候にも恵まれ、全市の直売所が一堂に会したコーナーや同時開催された「来てみて秋田・全県商工会おもてなしまつり」を中心に、多くの方々からご来場いただき、盛会裏に終了いたしました。

第129回秋田県種苗交換会につきましては、11月1日から7日まで潟上市を会場に開催され、出品総数2,187点のうち、JA秋田おぼこ管内からは359点が出品されております。大仙市からは、「水稻」、「切花」の2部門で全国農協中央会会長賞を、「水稻」、「水稻グループ」、「切花」、「ハトムギ」の部門で7点が秋田県知事賞を受賞するなど高い生産技術が評価されております。

出稼ぎ対策につきましては、11月末日現在の出稼ぎ者数が366人となっており、就労前健康診断の受診状況は、医療機関から176件の結果が報告されております。今後は、就労中の健康診断の推奨や就労先への広報等の送付により、健康管理の支援や地域情報の提供を行ってまいります。

ハローワーク大曲管内における平成19年3月の高校卒業予定者の就職内定状況につきましては、10月末現在では、希望者380人のうち252人が内定し、内定率は66.3%、また、県内への就職希望者は、前年度同期より117人少ない279人で、うち165人が内定し、内定率は59.1%となっており、8.1ポイント増加しております。

商業振興につきましては、中心市街地内の空き店舗を利用した「花火庵」への来店者が、10月末現在で16,090人、1日平均で75.1人となっております。

工業振興につきましては、大仙市としては2社目の誘致企業となる、山崎ダイカスト株式会社が11月17日に大曲地域において仮操業しており、空き工場等再利用助成金などの優遇制度を適用してまいります。

また、仙北地域において、工場の規模拡張計画が2件あり、いずれも来年の操業開始に向けて準備を進めていると伺っており、計画の進行に合わせて、各種の支援策によって対応してまいります。

技能功労者表彰につきましては、8月末までに各地域の業界団体から推薦い

ただき、9月27日、6名の委員による選考を経て、自動車車体整備をはじめ5分野から5名を顕彰し、表彰式典並びに祝賀会を11月14日に挙行いたしました。

観光推進につきましては、主要幹線道路からの誘導や観光資源の有機的連携を図るため、観光案内誘導サインの改善のための整備調査計画業務を委託しております。

崩落したメインロード荒川につきましては、10月30日に荒川地区振興協議会の役員に対して、これまでの経緯及び今後の方策についての説明会を開催しております。また、12月1日には、協和地域協議会にも説明を行い、大盛館と荒川鉱山の資料をリンクさせての展示等の提案があったところであります。

次に、建設部関係についてであります。

都市計画道路駅東線街路整備事業につきましては、前年度繰越分の道路改良工事が9月下旬に完了し、10月に舗装工事を発注しており、進捗率は11月末現在で約70%であります。また、国道13号バイパスから市道朝日町福田線までの区間につきましては、11月上旬までに道路改良工事が完了し、引き続き年内の完了を目指して舗装工事を行っております。

都市計画道路花園線につきましては、舗装工事が10月に完了し、現在、街路樹植栽工事を行っております。このほか、駅前広場整備工事が10月に完了し、舗装工事も11月に発注済みであります。また、9月に発注した歩行者用シェルター設置工事の進捗率は、11月末現在で約75%となっております。

(仮称)新協和体育館建設工事につきましては、来年1月末の完了に向け、順調に工事が進められております。

神岡地域のまちづくり交付金事業の「神岡幼稚園保育園一体施設」につきましては、設計業務について指名型簡易プロポーザルにより提案を受け、審査会を開催し11月21日に発注しております。

公園事業につきましては、大曲総合公園交流ゾーン整備工事が10月末に完了しております。また、仙北ふれあい公園事業の進捗率は、11月末現在、第四駐車場整備工事が約65%、9月に発注済みの体育館建設用地造成工事が

約15%となっております。

市道整備につきましては、市単独事業の新設及び改良事業62路線のうち、55路線について発注済みであり、このうち39路線が完了しております。

地方道路交付金事業で施行している古四王際飯詰線は、本年度予定している設計委託業務が完了し、また、中仙4号線及び黒森山線も、本年度の一部工事が完了し、残る部分についても年度内には完了する予定であります。

公共下水道事業につきましては、3地区において補助、単独合わせて9.3kmを発注済みであり、農業集落排水事業につきましては、8地区において補助、単独合わせて43件の管路工事、延長16.0kmを発注済みであります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転補償につきましては、大曲丸の内町地区及び大花町地区の本年度移転対象物件66戸中48戸の権利者と契約済みであり、現在、残る権利者と引き続き交渉中であります。また、借家人補償は27店舗全ての権利者と契約済みであります。

工事関係につきましては、区画道路8号線新設工事、延長180.58mを11月下旬に発注済みのほか、JRに委託している都市計画道路中通線の鉄道横断部アンダー化工事については、準備工に着手しております。

次に、国、県関係工事についてであります。

国道13号大曲バイパス4車線化事業につきましては、新玉川橋の完成に伴い旧玉川橋の耐震補強工事等を実施していると伺っております。

土買川築堤に伴う水尺橋の架け替え事業につきましては、本年度内において上部工の架設を完了する予定と伺っております。

雄物川中流部緊急対策事業の家屋移転につきましては、本年度内において8割の完了を予定していると伺っております。

県事業の主要地方道湯沢雄物川大曲線の角間川工区につきましては、引き続き移転補償及び用地買収を進めるとともに、旧横手川の横断暗渠工事及び排水路工事を施工する予定と伺っております。

国道341号上淀川地内交差点改良事業につきましては、11月末に事業を完了しております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道事業につきましては、大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う大曲丸の内町地内及び大曲中通町地内の配水管移設工事を10月中旬に発注済みであり、本年度末に完了の予定であります。また、本年度中に発注した主な配水管布設工事、改良工事は11月末に概ね完了しております。

簡易水道事業につきましては、5年の歳月と47億5,500万円余りを投じた「南外地域統合簡易水道事業」の完成を祝して、10月14日に土地提供者はじめ関係者約120人が出席して、竣工式を行ったところであります。

西仙北地域刈和野地区簡易水道施設整備事業については、配水池築造工事を9月中旬に発注済みであり、本年度末に完了の予定であります。また、大沢郷地区については、全体事業の実施設計を10月中旬に2カ年事業として発注済みであり、平成19年度早期に着工できるよう準備を進めております

仙北南地区簡易水道統合整備事業については、4工区発注分の総延長12,073mの配水管布設工事と給水管工事が12月初旬に完了の見込みであり、12月中に一部給水開始の予定であります。

また、平成19年度から計画している戸地谷地区についても、経営変更認可申請書作成業務の委託を11月中旬に発注するなど、諸準備を進めているところであります。

次に、教育委員会関係についてであります。

子ども達にとって望ましい教育環境整備の方針を定めることを目的に策定する「大仙市立小・中学校の現状と教育環境整備の方向性」につきましては、「大仙市学校づくり将来構想検討委員会」から意見・提言書が提出されたことから、これをもとに、本年度内に策定を完了する予定となっております。

全国的にいじめや児童虐待が問題となる中、本市でも諒介ちゃんの事件や児童生徒が不審者につきまといわれる事案等が発生しております。

その対応といたしましては、小・中学生の安全・安心を確保するため、不審者に関する情報等をあらかじめ登録していただいた携帯電話やパソコンにEメールで配信することにより、迅速で正確な情報伝達を可能にし、より多くの目で子どもを見守る体制を実現させたいと考えております。

(仮称)大曲南外学校給食センターにつきましては、10月30日定礎式が行われ、12月中旬の完成を目指して工事が進められております。今後は、1月以降の準備期間を経て、4月から大曲南外地域の小・中学校へ給食を供給する予定となっております。

協和統合小学校建設事業につきましては、11月1日、工事の安全祈願祭が行われております。

生涯学習の推進につきましては、9月17日、第1回大仙市民将棋大会が、実行委員会を主体とし大曲仙北広域交流センターで開催され、小学生から高齢者まで175名の参加をいただき、盛会裏に終了しております。

また、「市民囲碁フェスティバル」が10月7日・8日の両日、仙北ふれあい文化センターで、市内外から35人の児童が参加した「子ども囲碁大会」及び一般を対象にした「市民囲碁大会」が160人の参加のもと開催されました。大会には日本棋院から3名のプロ棋士が指導を兼ねて参加いたしましたが、子ども達にとって礼儀作法や社会性が身に着くことや「考える力」「集中力」を高めるなど脳の活性化が期待できることから、今後とも継続して普及に努めてまいりたいと考えております。

神岡中央公園屋内多目的施設・愛称「嶽ドーム」につきましては、12月2日にオープニングセレモニーを行い供用を開始しておりますが、市民の余暇活動の多様化に対応し、雨天時や冬期間における健康増進を図る施設として周辺のスポーツ施設等と連携して大いに利用されるものと期待しております。

最後に、平成19年度当初予算編成について申し上げます。

国の平成19年度予算の概算要求は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」を踏まえ、今後5年間の新たな改革に向けた出発点となる重要な予算であり、これまでの財政健全化の努力を今後とも継続していくこととしており、このため、引き続き歳出全般にわたる徹底した見直しを行うとしております。

地方財政は、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が回復傾向にある一方で、公債費の償還や少子・高齢化に向けた地域福祉施策の充実や生活関連社会資本整備等の重要政策課題への対応など歳出増加要因があり、収支の

不均衡が一層顕著になり、毎年大幅な財源不足を生じており、依然として厳しい状況にあります。

このような状況下、平成19年度の本市の財政は、歳入においては、所得譲与税からの税源移譲に伴い市税収入の増加が見込まれるものの、地方譲与税・地方交付税などが減少することから、歳入全体の伸びは期待できない状況にあり、一般財源の確保に苦慮しているところであります。

地方交付税については、不交付団体の割合の拡大に向けた改革や、新しい基準による算定方法の簡素化、透明化に取り組み、いわゆる「新型交付税」の導入を図るとしており、本市のように地方交付税等の依存財源の構成比率が高い団体においては、その影響の度合いが高く、懸念されるところであります。

一方、歳出においては、大仙市総合計画における大型プロジェクト事業等に要する一般財源や新規重点施策への対応等により、大幅な財源不足が見込まれる状況にあります。

こうした財政状況であります。平成19年度は、大仙市総合計画の2年目の年であり、「市民と協働のまちづくり」を基本とし、「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」の実現に向けて、種々の重要政策課題を計画的に推進する必要があります。

平成19年度予算編成におきましては、国の施策や経済対策、地方財政対策を見極めながら、本市として予算編成の基本的事項を定めております。

1点目は、健全財政を貫くことを念頭におき、これまでの前例踏襲による予算編成を改め、真に必要な経費をもって、各事業ともゼロからの積算を行い、新たな視点での予算編成を行ってまいります。2点目として、限られた財源しかないことから、すべての既存事業の見直しを行い、コスト削減を図り、スクラップアンドビルドを徹底することにより、新規事業を構築いたします。3点目として、各種補助負担金については、「自助努力をもってしても不足する分を補助する」との考えを徹底し、市としての統一した考えのもと見直しを図ってまいります。4点目として、特段の予算措置を伴わず職員の創意工夫や既存資源の活用などで、きめ細やかな住民サービスを行ういわゆる「ゼロ予算事業」について、全庁挙げて取り組んでまいります。5点目として、各地域がそれぞれの地域課題に適切に対応するため、本年度「地域枠予算」を創設

しましたが、対象事業などについて検証を加えながら内容の充実を図り、平成19年度も継続いたしたいと考えております。6点目として、予算配分の重点化・効率化を図るため、部局の主体的な予算編成、いわゆる枠配分方式を実施いたします。

先の議会定例会でもご報告いたしましたが、6月に提示した総合計画の実施計画の普通建設事業をすべて実施すれば、平成21年度の実質公債費比率が21%前後に達すると見込まれており、現在、計画事業の見直しを行っているところであります。

平成19年度の財政見通しも依然と厳しい状況にありますが、効率的・効果的な財政運営に努め、大仙市の基礎を構築してまいりたいと存じますので、市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、招集のあいさつ並びに諸般の報告とさせていただきます。